

## 第2学年 特別活動学習指導案

指導者 小柳 和也

### 1 題材名 「身の回りの生活について考えよう」

### 2 題材設定の理由

本学級の児童は、4月当初と比べると時計を見て行動したり、何をしなければいけないのかを考えたりと自主性が見られる場面が多くなってきた。また、友だち同士で言葉をかけあい、クラスとして高めようとする姿勢がある。しかし、順番が違ったり本来やるべきことができていなかったりする児童もいる。友だちに言葉をかけられても朝や帰りの支度、着替えや当番活動などが、みんなに間に合わず困っている様子も見られる。

本題材の学習を通して、これまでの生活や行動を振り返り、時間をかけずに行動するためにはどのようにすればよいのかを考え、行動できるようにしていきたい。

### 3 本時について

#### (1) ねらい

- ・順番に気をつけることで、時間をかけずに行動しようとする態度を育てる。
- ・どのようなことにも順序があることに気づくことができる。

#### (2) 展開

学習活動	・指導上の留意点 □評価
1 ロボットゲームをする。 ・教師の指令に従って動く。 ・児童同士で役割を交代しながら行う。 ・ゲームをしていく中で、順番があることに気がつく。	・始めは、教師が指令を出し、児童がロボットになる。 ・言うだけでなく、行動カードを掲示していく。
2 身の回りの生活にも順番があるのか考える。	給食着に素早く着替えるための順番を考えよ
3 給食着に着替えるための順番を考える。 ・給食着に着替えるための順番をワークシートに書いていく。 ※個の活動⇒グループ活動	・様々な言葉が出てくるのが予想されるので、あらかじめ入る言葉を用意しておく。 ・ワークシートを用意し、順番に書けるようにする。 ・グループで話し合い、順番を決める。
4 グループで考えたことを全体で共有する。	・それぞれのグループのよさを考えられるようにする。
5 振り返り ・本時の学習でわかったことや大切だと感じたことをワークシートに書く。	・他の場面でもどのようなことに気をつけたらよいか考えられるようにする。 □順序立てることで、素早く行動できることに気がつく。